

京都教区時報

特集—特別聖年を閉じるにあたって

—京都教区現勢調査報告

小教区—報恩寺教会



土持 直子さん
(桃山教会)

第91号

発行所

京都市左京区仁王門通新高倉東入

京都カトリック教理センター

広報室 (Tel 1761-9095)

編集責任者 村上透磨

編集部 教理センター

田中司教認可

崔

チエ

チュン
シク

—在日朝鮮人・韓国人問題學習から— 忠植氏から得た事

私は姜萬守さんという、韓国のバレーボール選手が大好きです。ある日学校に、彼の写真をさしこんだ下書きを持ってきました。友達の一人に見せて、「かっこいいやろ?」と言いました。「どこの人?」「韓国でーす!」すると友達は、「ふーん、複雑な国人好きになつたんやねえ。」と言いました。「複雑な国ってどういう意味やろ?」とは思いましたが、その時はあまり気にしませんでした。

それからしばらくして、私は、姜萬守氏のファンレターを書こうと思い立ちました。それにはまず朝鮮語を知らなくちゃ!という訳で、にわかに勉強を始めました。

最初に読んだのは、渡辺キルヨン先生の『朝鮮語のすすめ』という、朝鮮語や朝鮮の文化を紹介する本でした。「日本と朝鮮・韓国

つて似た所が多いなあ。」などと思いながら読み進んでいくうちに、次のような一節につきありました。「朝鮮人の強制連行について知識を持たずに正当化したり悪い事だと言つたりしてほしくありません。」私はこれを読み、昔どんなことが起つたのか、又、今どんな状態なのかを勉強したいと思いました。これが、私が在日朝鮮人・韓国人問題學習会(2月19日)に参加した動機です。

講師の崔忠植先生のお話は、まさに驚きの連続でした。靖国神社参拝の裏に、「他国侵略を行おう。」という意味があることなどこれまで、にわかに勉強を始めました。あの福沢諭吉が、

今度一度万円札にもなるうとしている人が、隣国侵略を正当なものとしていたという事実には、目をまるくしてしまいました。大学者とまで言われている人が侵略の間違いに

も気付かず、皆と一緒になつて流されてしまつたとは;当時の世の中がどんな風だったかが目に見えるようです。

崔先生の小さい頃のお話一同級生に雑布で顔をぶかれ、ホウキで追いまわされ、学校に行くのが恐くて、丘にのぼり泣かれた話とも、あまりのひどさに心が痛みます。

新聞の強制連行についての記事で、「許そう、しかし忘れない。」という朝

鮮の方の言葉が載っていました。立派な言葉です。さんざん苦しみを強いられて来られたのに、こんな言葉が言えるなんて……。うう風に言える朝鮮人の、どこが不潔ですか。日本人が差別できるだけの汚点がどこにあるのでしょうか。いつまでも古い考えを持ち続けるのはやめましょう!それを

次の世代に受けつがせるのはやめましょう!みんな同じ人間です。いつまでも差別や偏見が続いていい筈はないのです。

私の友達:強制連行について何も知らない様な世代の中にも「チヨンコウがない」となどと言う人がいます。私はそういう人達に働きかけたい。差別の観念がまだ浅いうちに私の気持ちを伝えたい、そう思います。デュランデュランというイギリスのロックバンドなら「わあ、かっこいい。私も好き!」で、姜萬守ならなぜ「複雑な国人やねえ。」なのかを問いたいです。

勉強会のとき、あるおばさんが言われた「これは日本人の問題なのです。」という言葉を反すうしています。

(聖母女学院高校三年生)



司教の足どり



3月～5月

- 3月

- 7日 灰の水曜日。教理センター訪問。
11日(日) J・モンロー(MG管区長)来訪。

- 司祭評常任有志会（小湧園）。

- 14日
長岡幼司教座聖堂巡礼。

- 第1回 W.C.E.H 平和研究集会
W.C.R.P 第2日目 (三条)

- 17日 奈良幼稚園式（M師と共に）
18日 (日) L・M・アチエス。

- 19
日
カルメル女子修道院祝祭。
ウイチタ聖ヨゼフ誓願式ミサ。

- 20日(祝)大塚司祭叙階式ミサ。
21日 聖母の家終業卒業ミサ。 理事会。

- 卒業式（四日市）。
岡村MDを府立病院に見舞う。

- 23日 教区幼稚園連盟教職員研修会。
25日(日)長浜30周年ミサ

- 29日 聖香油ミサ。選任式・田中、宣教奉仕者・卯本。司祭評定列会。

- 0
日
夕食会。

- 31日
善きサマリア人修道女会本部管
区長交代ミサ。総長と面談。

- 4月
1日(日)河原町ミサ。
2日 女子カルメル会宗法化成る。
3日 平城N.T合同会議(三条)J・

- | | |
|-----|---|
| 6日 | モントロイ(NG)管区長と面談。 |
| 7日 | 京都北カトリック学法理事會
（西舞鶴）。 |
| 17日 | 休養（アガーニヤ教区） |
| 18日 | A・ワルデス師と面談。岡村M
Dを見舞う。 |
| 19日 | 聖木曜日主の晩さん主式。 |
| 20日 | 聖金曜日。十字架の道行。信愛
幼母の会代表來訪。 |
| 21日 | 聖土曜日復活徹夜祭主式。 |
| 22日 | 日復活大祝日。 |
| 23日 | 邦人司祭月例会、ミサ及び住食
会。 |
| 24日 | 聖マルチンに母を見舞う。 |
| 26日 | 園部へ上田師訪問。聖家族幼の
聖母像祝別。 |
| 27日 | E D I（戸枝師、J・バーン氏
浅田師）來訪。 |
| 29日 | [日]津にて教会代表と面談。研宗館
見学。 |
| 30日 | セントヨゼフ女学院25周年（大使
主式—古屋司教と—）Srアル
ミーナ創立者米国帰國送別会。
記念式。記念演奏（洛星）。 |
| 1日 | S S N D 理事懇談会。 |
| 5日 | ～11日 韓国巡礼。 |
| 12日 | 丹後大宮行。壯年会婦人会代表
志と懇談会。A・ピメント司教
(インド司教協議会会長)
青年会代表と懇談会。 |
| 13日 | 同上 |
| 14日 | A・ピメント司教と京見物。
MM総会開会に出席。 |

教皇訪韓

韓國教会二百年祭
第三回 希望者(5月6日)

近くて遠い国、それはお隣の韓国、朝鮮かも知れない。日本建国当時から、文化的・精神的・経済的・政治的な影響は大きく、数多くの恩恵を受けて来た事は否めぬ事実である。そして、私達は、その恩を仇で返す事を、国内外において進めて来たのではないかだろうか。在日朝鮮人、韓国人問題学習会等からも、学んだ事は、そういつた私達日本人の傲りと忘恩に対する痛みではなかつたろうか。さて、今回の教皇訪韓（5月2日より7日、尚バブア・ニューギニア・ソロモン諸島を経て、10日から11日に仏教国タイを訪問された）のクライマックスとして6日、韓国百三殉教者の列聖式が行われた事は承知の通りである。最近の韓国におけるカトリックの教勢の著しい発展は目を見はるものがあり、私達としても何がそうさせているかを静かに観想してみたいものである。その一つの理由は確かに言える。それは教会が、人間の基本的人権の勇氣ある擁護者であると言う事である。今年韓国の教会は二百年祭を迎える。日本の場合フランシスコ・ザベリオから数えるとすでに四百余年の歳月が流れた。二百年に及ぶ迫害の歴史は、殉教者の島とも化したが、その血の花はいつ開花するのであろう。日本は日本なり

のキリスト教受容の仕方があり、又そのため受容方法も異なつていようが、何か学ぶべきものがないだろうか、我々日本人は、歴史的に見て長い間朝鮮半島を通じて学んで来た。私達はこの師に対する礼を忘れて来たのではないか、それが又日本人の欠点であり、教会も亦、その同じ禮を踏んでいるのではないか。

尚田中司教もこの列聖式に白柳、相馬両司教と共に参列し無事帰國された。

製菓材料・舶来食品
和洋酒・修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒

タキノ

あなたの良き隣人として
カトリック御葬儀・貨物一式(仏式可)
聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
電話(075)312-7829

京都市右京区西院寿町23
電話(075)312-7829
(075)771-7577

お知らせ

●第4回アジア体験学習

青年ワークキャンプ

開催要項

目的地 (1) フィリピン・インランダ・バギオ
(2) 韓国

内容 ワークキャンプと現地青年との交流
期間 (1) フィリピン 59年8月17日(金)~29日(水)
(2) 韓国 59年8月18日(土)~27日(月)

費用 * 10万円

運輸費、滞在費含む。上級のみのため

募集人員 (1) フィリピン・インランダ (13名)
(2) 韓国 バギオ (14名)
年令 (9名)

主催 18才以上

京都カトリック教理センター

後援 日本カトリック司教団青少年司牧委員会
申込み問合せ先 〒606 京都市左京区仁王門通新高倉東入ル
京都カトリック教理センター
松本三朗神父宛 Tel 075-200-57

9月9日(日)午前9時阪神今津駅出口前に集合
コース・金刀山(教會・高麗祭堂・正教會・中教會・基督教會 1km)

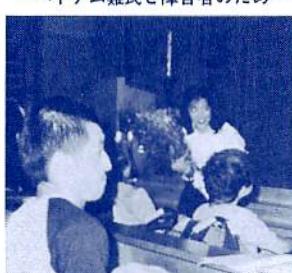
★二つの巡礼とも御ミサがあります。

持参品・弁当、ロザリオ、雨具と酷暑

の対策をお忘れなく。

★雨天決行! 信者・未信者問わず参加歓迎
詳細は聖母学院三牧先生 (☎ 075-331-1122)
尚、この御復活祭に巡礼に参加しておられた二人の女子高校生と二人の御婦人が祝福の内に受洗のお恵みを頂かれた。

河岸 久美
チャリティーオルガン・コンサート
ベトナム難民と障害者のため



河岸久美さん(河原町教会)はかねてから念願のチャリティ・コンサートを河原町教会で5月13日、河原町教会聖歌隊の賛助出演により、盛会の中に終えた。

純益68万円・34万円宛をベトナム難民と子羊会に贈呈。河岸さん御一家は、一家をあげて、子羊会友の会会員として尽してこられたが、久美さんは、いつかオルガンを通じて、何かお役に立ちたいと大

学でも学ばれ、今日に至ったものである。

尚、演奏曲目は、J.S.バッハ、コラール曲「お、人よ、汝の罪を嘆け」外四曲。

又、ピクトリアの「アベ・マリア」モー

タルトの「アベ・ベルム・コルブス」

外、合唱曲、六曲であった。



衣笠墓苑に納骨堂建設さる

昭和36年7月衣笠山に公園墓地新設の申請が許可され、造成工面には墓所と共に納骨堂が計画されていました。

一時豪雨に見参われ中段以下が崩壊の浮目に会つたが委員各位の努力により修理復旧すると共に、祖先を大切にいうことを強調される田中司教様の良き御指導により、急速に面目を一新してきました。

他方諸宗教に於ける墓苑の造成、淨苑の発売、或は豪華な納骨堂の建設が流行する如き時代となり、K市では屋上お墓付きマンションも現われる始末。この風潮に刺激されてという訳ではありませんが、衣笠墓苑も割安感と必要性に迫られ

てか、前年早々売切れとなりました。

附記

一 衣笠墓苑は市内各小教区主任司祭が推薦し司教が認めた人々で、管理委員会を構成し、管理規定に基づいて運営されています。

一 納骨堂の内陣は(1)共同納骨所

(2) 一時安置棚 (3) 家別ロッカー式納骨

一家納骨堂の使用料は約三十五万円を予定しておりますが目下検討中です。

一 納骨堂管理規定の作成を急いでいます

が大体現行衣笠墓苑管理規定に準拠しています。故御参考下さい。

一 壁の乾燥をまつて十月頃より納骨可能。

詳細お尋ねは教区事務所へどうぞ!

◆第2陣第9回巡礼

姫塚(岡山駅10駅)の新幹線こまほ号の予定

コース・登録前大橋・古都・岡山教会・岡山駅(12km)

長浜教会 創立30周年を祝う



クリスマスと復活が一緒にきた
ような喜びと、なにものにもまさ
る励みを感じ、主に愛されてきた
この三十年の恵みへの感謝とともに
に、参列者の暖い友情が身にしみ
て有難く感じられました。各地から
祝電や励ましのお便り、ご芳志
をよせて下さった方々をもあわせ
て、皆さまに誌上ながら心からお
札を申し上げます。

長浜教会では、この日ばかりで
なく、今年を30周年の年として過
去の起伏を充分反省し、神様の愛
に応えるべく種々な記念行事を行
う予定にして居ります。その手初
めとして、フィリピンの少年の学
資援助と交流を目的とする「サラ
マップ会」への加入を広く地域に広める
ことを記念事業とすることを決め、本来
30周年記念のための記念品を製作するは
ずであった全費を全てサラマップ基金と
して有意義に流用することとした次第で
す。どこまでやれるか未知数ですが、主
の助けと私たち自身の熱意次第だと自問
自答しながら、肩を寄せ合つてこれから
頑張りたいと思います。若しサラマップ
会についてご関心のある方はご一報下さい。

滋賀県は湖北、長浜教会では去る三月
二十五日、田中司教様式により、教会
創立30周年記念ミサを捧げ、ささやかな
(長浜にしては盛大な!) 祝賀会を行
ました。過去三十年間に長浜教会発展の
ためになんらかの形でご協力いただいた
なつかしい神父様、シスター、信者の方、
滋賀県連合会でなじみの各教会の信者仲
間、地域社会で日頃接触のある方々、保
育園児のご父兄先生方、そして数少い私
たち長浜の信者たちと、約二〇名ほど
の人々が小さな聖堂一杯に集つての莊嚴
ミサでした。彦根教会とかけ持ちの主任
司祭ツォシェット神父様による隔週の日
曜ミサと他の日曜は聖体奉仕者のみこと
ばと聖体の儀式で、日頃こじんまりと集
つている私たちにしてみれば、この日は

かいかづんづんづづづづ

教区内の親睦の和と 二つの運動会

4月29日、京都市周辺北部 七教会、五
グroupeの教会の運動会が、ノートルダム
学院で行われ、西陣教会が連続優勝。続い
て翌30日、今度は京都市南部 九教会、七
グループ、それに日本基督教団世光教会、
醒醐にある身体障害者のための家、フレ
ンドリーハウスの人々が参加し、聖母学
園グランドで行われ、今年は始めてから何
時か必ず優勝するだろうとの予測があた
り、世光教会が優勝した。

29日は快晴、30日は今にも降り出しそ
うな天候のもと、同じキリストにおける
信仰をもつものとしての一一致を確かめ合つ
り、世光教会が優勝した。

て無事終了した。市南部には去年から、
フレンドリーハウスの人々の参加があり、
大会を意義あるものにしている様に思う。
市北部でも障害を押してがんばっている
健ちゃんこと、久保田健一郎君の参加が、
人々の心を打つた。早く走る人が「栄冠
を得るのでなく、努力して走る人が報われ
れる」との主の思いが伺えた様にも思え、
又、勝ち負けより、支え合う事のすばら
しさを体験されたのではないかろうか。
一見外的行事に見えるこの様な集いが
教会の魅力と一致を促す、内的な力を生
み出してくれる様にと願つてやまない。

宣教Tシャツ

あなたがたは主キリストを着なさい。

(ローマ 13:14)



着よう、着よう、主イエス、キリストを宣べ伝えるために。

- 白地に緑の印入り
- 価格 1枚: 200円
- サイズ・フリー

お買い求めは

京都カトリック教理センター。

☎ (075) 761-9095 - 752-0057

SADE



ラウル・ニポン師
(グワダルベ会)
九条教会

誰でも生を享けた者は、自分が神の子になつてゆくよう呼び出されていること、真珠にも似た恵みに満ちた自分自身を見出だす体験が出来ればどんなにすばらしいことでしょう。またその体験が、

若さ溢れる時機にあるとしたら、一生通じてのより豊かな対人関係、新しい家族をつくるにしても、将来への社会人としての基盤を築くにしても、大きな助けとなるに違いありません。

三月九日から十一日にかけて、丹後、奈良、三重の各地から集つた若者24名が、北白川教会で寝食を共にしながら、この

「自己発見・自分との出会い」を体験し、仲間と真剣な分かちあいをしました。

耳慣れないSADEの名称で呼ばれるこの若者のエンカウンターは、夫婦の出会い体験の分からかいの束い「マリノジ、エンカウンター」から生れ、展開されたものです。従来の默想会、カウンセリングといったものではなく、若者自身を育んでくれた両親、家族との関り、出会う人との心の結びつきの大切さに若者を目覚めさせてゆきます。

今回の集いの、最後の分かちあいには、田中司教様も共にいて下さり、将来的教会を担う若者達へ大きな期待を持つておられることが、その歎息の言葉のうちに十分伺えました。更に全参加者の期待を超えた溢れ程の感謝への感謝の祭儀には、祈りのサポート者が20余名も駆けつけて下さり、共に「シャローム！」と主に感謝できたのも忘れられない喜びでした。京都教区内では、奈良地区が神父様方の熱のあるご協力により、若者のエンカウンターが根を下ろし、回が重ねられています。

「青少年の育成」「魅力ある教会」づくり(教区ビジョン)の一つの方法として、若い皆さん、次の「若者のエンカウンター」を覗いてみませんか？小教区での青年部、中、高生グループづくりに关心のある方もお気軽にニボン師(九条教会)に御連絡下さい。

シスター・グレイス斎藤
(カロンドレッドの聖ヨゼフ)

公立中学の終了式を終えたばかりの三月二十四日夕方より、北白川ヴィアトール教会にて、第四回カトリック・スカウト京都地区的宗教トレーニング・キャンプが行われた。

今年は、教区内の小教区に属するGS九ヶ団とBS四ヶ団から新中学二年生を

中心に六十三人のスカウトが集まつた。

五つのセッションでは指導司祭達のわかつと探求、聖書の主要な祈りについて等を勉強した。又二回の御ミサ、ハイキング、營火、聖歌練習、版画作り等、盛りだくさんのプログラムが楽しい雰囲気の

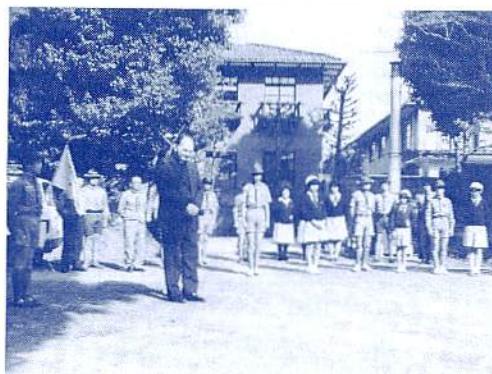
「神と国とに誠を尽くすスカウトに」

第四回カトリック・スカウト 宗教トレーニング・キャンプ報告

内に進められた。スカウト達は、集会毎に唱えている誓い「神と国とに誠を尽し」と「(GSでは約束)神と国とに対するつとめを行ひ」の神について考え、勉強できだと同時に、他団のカトリック・スカウトと親しくなる事ができ、有意義であった事と思う。

六月頃にはリーダーの研修も予定しており、このような催しを通して、一人でも多くのスカウトがキリストと出会いがで、信仰をもつたスカウトとして、社会に奉仕する人間に育つてほしいと願っている。

(文責 東)



ものみな目覚め 新しい時に備えよ

特別聖年を閉じるにあたって

「贖い主に心の扉を開く様に」という、教皇様の言葉によつて始められた特別聖年は、四月二十二日、復活祭をもつて、

人の域を越えて広く社会、国際的、宇宙的な愛の広がりを取り戻す目的もある事を指摘いたしました。たまたま、京都教区におきましては、教

信徒の方々が中心になって計画し、実行された事。更にそれが、教区ビジョンの線にそつて行われた事であります。

書簡を読み返しておりますと、何とかしてビジョンの精神にのつとつてとの願いが、こめられている様に思えます。

ます。これが一年間、妻多くの人の心が
私達の主、慈しみの主、讀いの主に開かれ
数多くの人々の魂が、神の救いの恵みと
慈しみに満たされた事であります。

に特別聖年の意義を先取りし、実践していくものである事も指摘いたしました。ビジョンの精神に生きぬく事は、主の贖いの恵みを身に帯びて生きる事であり、それは又同時に、福音の精神とその恵みに生かされる事である事を御自覚いただいたに違いないと信じております。

修道者達が協力してこの集いがもとだれました。成功不成功は神様のお決めになる事ですが、私は大成功だったと思います。今、こゝに改めて、皆さんのお力をねぎらいたいと思います。まことに個人的な感情を申し上げて恐縮ですが、私はこの様なすばらしい教区民に支えられている幸

父様方の御意見を入れてまとめたものであります。
確かに、これを具体化していくに際しては、指定教会等の方々に御迷惑も、おかげした事もあつたかも知れませんが、その点おゆるし願いたいと思います。
さてみなさんは、この一年いろんな体

か遠の喜びの中にゑり、今は利害の力強き取り次ぎ手として、神のみ前に立つていて下さる事であります。

この特別聖年を通して、私達が、特に罪のゆるしにもあやかる事が出来た事と信じております。

特別聖年において、数多くの取り組みが、個人又グループとして行われ、それは、私も充分、存じ上げていないところで密かに、しかし、すばらしい実りをもつて行われた事でありましょう。

一九八四年度の四旬節教書は、「この様な事をふまえく、「キリストの使徒職への招きに応えて」と題して出させていただきました。

去年の平和専門の集いも、ビジョン実践の一つとしての平和学習会の方々の計画のもとに、ビジョンや特別聖年の主旨にそって行われた様に思います。その中で洗剤が及ぼす公害を妨ぐために洗剤を使

特別聖年に入るに際して、皆様にお送りしました特別教書で申しました通り、聖年は社会的意義を持つものであり、單に神との和解という義の実現だけでなく、社会的不正義を解消する目的があり、個

その中で、昨年十一月二日三日に、洛星高校で行われました、京都府南部信徒協議会主催の、府南部信徒大会は、私に大きな感銘を与えてくださいました。そこで特筆すべき事は、司祭、修道者より

信徒の使徒職の養成と自然との和解について申し上げました。これらはみな、教区ビジョン、特別聖年の司牧書簡と通じるものであり、いわば一つのまとめの様なものであります。

わないので運動をしている主婦の話が出て来た様に記憶しております。それは私が達が快適に能率よく生きようとするそのためには困る人が沢山出てくるという事を考えての事でしょう。

どうか、教区ビジョンとともに、この司牧書簡をもう一度、読み返して下さって神が私のつたない口を通して、みなさん一人一人に語りかけるものとして、お受けとりいただきたいと思うのであります。確かに、私の言葉はつたなく、私の声は弱いかもしれません。しかし、みなさんが、日頃私に向けておられる、その慈悲深い子としての眼差しと、聞く耳をお聞き下さる様頼つております。

平和旬間の司教団の「平和への望み」という司牧教書の中に、割りばしの話が出てきます。更に広告に、無駄に使われる紙の氾濫。それらは無駄使いを増長し、自然を破壊し、ついには人間性を破壊していく。その因果関係を探ると恐ろしい程、深いものがあるのです。

私たちが、この経済的に豊かな社会の中で、どっぷりとつかつた生活をしている時、世界の何処かで、何処かどころか至る所で苦しんでいる人々がおられる事に対し、せめて心の痛みを感じているだろうか、という反省が起つてくるのです。確かに自分は何も悪い事をしていない。確かにそうでしょう。でも物を無駄に使う、粗末に扱う事によって誰かが苦しむ事に気付かない。苦しむのはいつも弱い立場に置かれている人々なのだと云う事に気が付かない。

世界の大半の人々が苦しんでおられるのに、それから目をそらしまでいる事は、無関心によつてその人々を傷つけているのだと思つきたくないのではない。

私は何も悪い事はしていないと言える人は誰もない、と聖バウロは申しますが、この様に考えますと、私達はどうな善意に生きいても、人を直接傷つけないと思つても、傷つけているのだという事に胸を打たねばならない。

又個人で罪を犯さなくても、社会として罪を犯す事がある。そういう事に気付くべきでしょう。

再び昨年の南部信徒大会の事に話を戻しますが、あの大会を企画した人々の意図はその辺にもあつたのでしょうか。個人で悪い事をしないことも、团体としてしている。それに気付き、それに胸を打ちそれを少しでも打破する方法を考えようじゃないか、という様な事ではなかつたかと思うのです。

さてみなさんは、この一年を通して、いろんな見えなかつた面もある程度、見られる様になられたのではないかと思うのです。

例えば、司祭がない、交通の便も悪い、そういう教会を巡礼なさった時、訪問をなさつた時、何かと恵まれて、自分達の事を思つて何を感じ取られたでしょうか?他方、そういう教会でがんばつておられる方は、その訪問によつて、普段、人も少く、その意味では淋しく、信仰を守り続けていた者として、この様に多くの信仰の仲間がいる事を知つて、少しは励ましを得られたでしょうか。

私達はこの世の中に、私達が生きているこの社会に、福音を伝える事によつて、恩返しをしなければなりません。私達はこの世の中に、私達が生きているこの社会に、福音を伝える事によつてまだまだ誤解や困難をかかえていました。しかし、少しずつでも努力しようではありませんか。

でも考え方によつては決してむずかしい事ではありません。それは福音を現代の世界の中で、ていねいに生きていく事なのですから。福音に生きる事は確かに困難を伴いますが、むずかしい事ではありません。何故なら福音は、すべての人々が、救いに至る道なのであり、救いの招きなのであり、神の恵みなのですから。

私達はここにもう一度、私達の贖い主イエス・キリストの前に聖母と共にたずみながら、全世界の、全地球上に、真の和解と刷新の恵みが与えられます様に祈り続けたいものであります。

キリストの御言葉は、私達の耳を離れる事はありません。

特別聖年を閉じるにあたつて
一九八四年四月二十二日
復活祭の日に

京都司教
ライムンド 田中健一



いろいろな施設の中で働く人々の努力、そこで苦しみ、又、そこで喜びと平安を見出してくれる人々の事を少しは御理解しておられる方々がいらっしゃるか。ただけたでしょうか。

いろいろな障害、苦しみを荷つてゐる人々と健常者、一患患まれてゐると思われる人々との間の互いのあたたかい理解と思ひやりが深まつたでしようか。

特別聖年は終りました。しかし私達の聖年は終つたわけではありません。人々との間の互いのあたたかい理解と思ひやりが深まつたでしようか。

この社会に、福音を伝える事によつて、恩返しをしなければなりません。私達はこの世の中に、私達が生きているこの社会に、福音を伝える事によつてまだまだ誤解や困難をかかえていました。しかし、少しずつでも努力しようではありませんか。

でも考え方によつては決してむずかしい事ではありません。それは福音を現代の世界の中で、ていねいに生きていく事なのですから。福音に生きる事は確かに困難を伴いますが、むずかしい事ではありません。何故なら福音は、すべての人々が、救いに至る道なのであり、救いの招きなのであり、神の恵みなのですから。

私達はここにもう一度、私達の贖い主イエス・キリストの前に聖母と共にたずみながら、全世界の、全地球上に、真の和解と刷新の恵みが与えられます様に祈り続けたいものであります。

特別聖年を閉じるにあたつて
一九八四年四月二十二日
復活祭の日に

京都司教
ライムンド 田中健一

みた時、出て来たのが例えれば現代世界憲章でありました。同じ様に、福音の精神と公会議の指針を現代の京都教区間で読み返したもののが、教区ビジョンなのです。そして特別聖年は、この様なビジョンの一つの具現化として、理解されたのでした。

二十世紀まであと十五年を残すのみとなりました。その十五年の間に何が起こつてくるか私達に予想する事は出来ません。しかしその中で、滅亡が神の罰として来るかもしれないという恐れよりも、私達の利己主義や、高慢や、貪欲さの故に、愛の欠如、敬虔さの不足の故に、人類の滅びを私達が生み出してしまつ事が無い様に、私達は常に自分を見つめ、胸を打ち、心を改め、改めた事を実行していく必要があります。

「悔い改めなさい、福音を信じなさい、福音を信じなさい」と云う、贖主イエス・キリストの御言葉は、私達の耳を離れる事はありません。

私達はここにもう一度、私達の贖い主イエス・キリストの前に聖母と共にたずみながら、全世界の、全地球上に、真の和解と刷新の恵みが与えられます様に祈り続けたいものであります。

1983年度 京都司教区現勢調査報告 (1983.1.1~12.31)

概況

面積： 18,090,00km²
(京都府・滋賀県・奈良県・三重県)

人口： 6,697,448人

信者総数： 20,914人

求道者： 390人

小教区： 43

巡回教区： 18

人員構成

	邦人	外人
司教	2	
司祭	26	59
修道士	(2)	11
神学生	4	
修道女	245(9)	35
聖母カテキスト会	24	

修道女

	邦人	外人
ノートルダム教育修道女会		
ノートルダム教育修道女会	66	11
聖母訪問会	37	
ヌペール愛徳および キリスト教的教育修道会	23(1)	
幼きイエズス修道会	20	
ウイチタ聖ヨゼフ修道女会	21(2)	6
カルメル会	14(1)	
カロンデレットの聖ヨゼフ修道会	9	4
聖ドミニコ女子修道会	8(4)	
聖心のウルスラ修道会	9	1
聖ドミニコの宣教修道女会	6	
メリノール女子修道会	3	9
コングレガシオン・ド・ノートルダム	3	
汚れなきマリア修道会	4	
カノッサ修道女会	4	1
善きサマリ亞人修道会	4	2
聖ウルスラ修道会	2	1
イエズスの小さい姉妹の友愛会	4(1)	
汚れなき聖母の騎士	8	
聖フランシスコ修道女会		
聖母カテキスト会	24	
合計	245(9)	35

伝道士(婦)

信徒	男	女
信徒	6	11
修道者	1	17

施設

社会福祉施設

	数	男(児)	女(児)
病院	2	※ベッド数300	
養護施設	1	3	46
保育園	7	401	361
老人ホーム	4	49	199
心身障害者施設	4	185	176
寮	6	8	66

教育施設

	数	男	女
大学	1		1,276
短期大学	1		774
高等学校	9	1,869	3,094
中学校	7	769	1,357
小学校	3	845	1,121
幼稚園	26	2,421	2,463

■ 小教区概況

地区名	教会名	信徒数			ミサ参加		求道者	洗礼			結婚	転入	転出	教会学校		死亡
		総数	実数	(1982年)	日曜日	復活祭		成人	幼児	臨洗				信	未	
京都都市内	河原町	1,748	1,676	1,675	750	1,200	30	15	6	1	35	30	28	73	94	8
	西院	1,163	828	790	200	300	16	10	8	0	7	14	16	43	3	3
	衣笠	744	564	611	167	254	3	10	3	0	9	16	13	4	28	4
	高野	409	310	317	210	280	42	20	7	4	13	7	29	28	7	9
	桃山	628	609	636	130	300	6	2	5	1	2	6	34	20	15	2
	九条	546	393	395	80	130	1	0	2	0	3	4	7	14	34	1
	桂	669	604	587	190	260	10	8	8	1	4	19	16	70	20	3
	伏見	312	312	358	100	200	12	7	5	1	5	23	51	35	15	0
	山科	509	419	419	150	350	12	4	6	2	6	17	19	25	3	2
	西陣	375	327	321	90	150	3	4	1	2	4	11	6	22	7	4
	小山	262	246	249	65	100	0	1	4	0	0	2	3	13	5	0
	北白川	234	160	165	100	120	11	4	7	0	3	7	3	15	14	0
	小計	7,604	6,445	6,523	2,232	3,644	146	85	62	12	91	176	225	362	245	36
京都府南部	田辺	773	769	642	265	485	12	10	12	0	4	22	21	55	95	0
	宇治	586	556	562	200	410	15	2	4	0	6	16	21	35	47	2
	園部	229	229	229	30	80	8	4	1	1	3	4	1	0	0	6
	青谷	248	214	226	70	150	1	1	2	1	0	1	15	35	2	2
	長岡	300	181	174	90	150	3	2	1	0	1	7	3	10	20	0
	亀岡	149	144	138	100	130	10	1	2	3	1	7	4	30	15	0
	小計	2,285	2,093	1,971	755	1,405	49	20	22	5	15	57	65	165	179	10
京都府北部	網野	133	131	132	25	40	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
	報恩寺	685	337	328	40	60	3	4	6	0	0	0	0	20	0	1
	宮津	380	343	337	175	240	10	5	1	1	4	10	9	23	9	2
	西舞鶴	403	368	358	130	200	7	9	9	2	1	5	8	41	28	7
	加悦	286	286	273	75	130	2	21	3	0	0	6	9	3	5	8
	岩滝	184	184	191	70	80	7	2	1	1	0	1	6	24	8	4
	綾部	149	149	147	40	100	3	1	0	1	0	2	1	13	18	1
	東舞鶴	182	147	137	48	120	5	6	0	0	6	4	0	8	4	1
	福知山	100	99	93	20	85	3	5	5	0	0	1	3	8	45	2
	大宮	167	158	157	50	80	1	2	0	1	0	3	3	0	0	2
	峰山	146	118	106	30	40	3	2	1	2	1	2	1	0	0	5
	小計	2,815	2,320	2,259	703	1,175	44	57	26	8	12	36	41	140	117	34
府	計	12,704	10,858	10,753	3,690	6,224	239	162	110	25	118	268	331	667	541	80

	教会名	信徒数		ミサ参加		求道者	洗礼			結婚	転入	転出	教会学校		死亡	
		総数	実数(1982年)	日曜日	復活祭		成人	幼児	臨洗				信	未		
滋賀県	草津	638	631	605	273	495	6	12	12	28	5	17	9	90	3	1
	大津	510	302	274	130	300	17	0	13	0	6	24	9	46	5	1
	彦根	269	269	274	80	120	8	2	0	0	2	9	3	10	0	5
	長浜	101	101	100	26	38	2	0	0	0	0	1	0	10	21	0
	唐崎	155	125	113	70	100	4	1	4	0	0	12	1	3	74	2
	小計	1,673	1,428	1,366	579	1,053	37	15	29	28	13	63	22	159	103	9
奈良県	奈良	819	761	753	250	420	42	9	2	2	7	15	16	48	173	4
	高田	519	493	498	180	370	7	6	9	1	5	12	16	54	127	1
	郡山	389	381	374	150	180	10	7	4	0	1	10	8	37	80	2
	八木	290	287	285	60	120	7	1	3	0	2	2	4	5	106	0
	登美が丘	459	459	432	250	355	18	1	6	2	1	31	14	33	253	0
	富雄	298	298	281	100	150	9	5	2	0	2	23	12	38	17	0
	御所	142	126	117	80	90	2	1	4	2	3	9	0	9	150	7
三重県	小計	2,916	2,805	2,740	1,070	1,685	95	30	30	7	21	102	70	224	926	14
	四日市	772	443	450	224	300	13	2	8	0	1	10	23	54	10	3
	松阪	454	389	454	60	100	4	18	0	1	2	2	3	17	4	21
	伊勢	533	392	378	90	120	2	14	4	0	5	20	4	21	10	3
	津	489	489	451	184	335	9	10	3	1	6	36	7	8	17	5
	桑名	195	174	192	50	110	2	3	2	0	0	11	3	19	16	1
	鈴鹿	248	249	243	60	130	10	3	3	0	0	9	10	18	30	1
	久居	164	164	159	60	100	1	2	3	0	0	1	0	0	10	1
	上野	133	133	143	70	90	8	0	1	0	1	1	5	24	40	1
	亀山	77	64	63	28	55	3	0	0	0	0	4	0	8	0	2
	尾鷲	44	44	42	28	30	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	名張	90	90	74	45	70	1	0	0	0	0	20	4	14	20	0
	小計	3,204	2,636	2,649	899	1,440	55	52	25	2	15	114	59	183	157	38
	総計	20,497	17,727	17,508	6,238	10,402	426	259	194	62	167	547	482	1,233	1,707	141

平和旬間への取組み

正義と平和委員会では、平和旬間(8月6日～15日の取り組み方について)そのたき台を作る様にとの要請を受け

一つのたき台を作った。それによると、平和旬間だけの行事に留まらず、7月から12月にかけて、勉強会を

しながら、平和問題を取り組む姿勢を取つていく事が計画されている。尚、平和句間実行委員会を各会代表になつて作り、具体的な活動方針を6月29日決めていく事になつていて。

たき台によれば次の通りである。
たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

たき台によれば次の通りである。

8月4日(土)～6日(月)

教区中学生会広島巡礼

团长 田中 健一司教
引率指導司祭 越知 健師



ABBA: おとうちゃん: 神さま



J・アルフォンソ師(小山教会)

贈り物に最適!



橋爪進氏画
『信仰の心の
深さのあらわれ』

と教皇様もよろこばれた
橋爪進先生の絵文字“愛”
色紙に画かれています。

御希望の方は西陣教会
浅田神父様まで申し込んで下さい。他にも色々ござります。1枚¥2,000-です。

K R R P 京都カンボジア難民救援会では、この度、カンボジア難民の悲惨な状況をうれい、その善処を願うアーピトルを関係諸国の元首に送った。ベトナム難民の事についてはかなりの関心はあるが、カンボジア難民については、ベトナム難民との混同も多く、忘れられている事が多様にも見受けられる。

カンボジア難民のための募金にはK R R P(事務局長、高橋豊子)を中心にして、その次長をしている、シスターホーマン(ヌヴェール会、聖母学院)に、特に聖母学院の子供達やノートルダム女学院、洛星、洛南の生徒が多数協力し、休日等には四条の大橋の上で募金活動をしてい

る姿を見受けられる事と思う。

又、朝日新聞2月17日の朝刊を御覧の方は御存知かも知れないが、この会の事務局がある「京都国際学生の家」にノートルダム小学校や、聖母幼稚園PTAの方が協力して、手芸品作りの集まりが発足、バザーを通じて、資金作りに努力している。今迄この救援会が送った金額は、初代事務局長、小野了代さんの時から一億二千万に及ぶと云われる。

カンボジア難民に対する訴え

関係諸国元首へ

*M. for INDIA KING KATE
arinty or I am in India
to be your letter to our
King news of the state of
helping to save the lives of
a have been done so far
on the border ti*

勉強会を毎第2・3・4土曜日、午前8:30 AM、河原町教会において行っている。講師は京大大学院生、ヘン・パラー氏。多数の参加を呼びかけている。世界には到るところ、貧困と飢餓、戦争と掠奪、差別と障害に苦しむ人々がおられ、生きる事はおろか、生命さえ、脅かされている事を思う時、少くとも表面的には、無駄と豊かさの中などつぶりつかつている私達が反省し、少くとも、心の痛みを感じる事は出来ないものだろうか。又教区ビジョン、四旬節司牧教書、聖年を閉じるに当つて出された司牧書簡の詳細は、**『三月二六四(高橋)又は** 606 京都府立京都市立聖母院東町 京都国際学生の家お問合せ下さい。

知っていますか

ドマゴット・チボリ国際里親運動を?

フィリピン、ルソン島のマニラ市北東100kmに、ドマゴット族と呼ばれる2万5千足らずの小数民族が、原始生活のまま、私たち日本人には考えられない貧困にさらされています。

彼らには文字がなく、学校がなく、電気がなく、貧しさと疫病と無学さは、生き残るための気力を、無惨にも奪つぶしかねない有様です。ドマゴットは、タガログ語で海辺といふ意味。彼らはともと太平洋岸の海辺に住んでいましたが、スペインの統治が始まつた一五七一年頃から「危険な部族」と誤解され、山奥に追いやられました。

アメリカの統治にかわったのち、法律が制定され、戸籍、土地の登記手続きが公示されました。彼らには法律の意味



救いを待つドマゴット族の親子
(ルソン島の秘境カカマイで)



同じフィリピンの南の島ミンダナオにあるチボリ族の里も、ドマゴット族の集落の悲惨なまでの貧困さに劣りません。一昨年八月チボリにいる自分の里子を訪ねた畠山八郎さん(唐崎教会)の報告をご紹介しましょう。

八、九月は雨期とあつてコタバト市からチボリに通じる山道は自動車のタイヤが半分も埋まるぬかるみ様。入植してから子供に通じる山道は自転車のタイヤが半分も埋まるぬかるみ様。入植してから

父の努力で、チボリの里には学校、病院が設立され、それ等施設のスタッフも養成中のこと。里を開むジヤングルには道らしい道も見えないのに、どこからとがわかりません。住みついた所も国立公園にされているという有様。彼らは農耕のすべも知らず、魚や野豚、鹿、猿などを追つて移動。獲物が捕れると集落全体で平等に分配。捕れなければ何日も食べない日が続くといった生活です。出会つた大人も子どもも手足が極端に細く、あら骨が浮き上つて、明日をどう生きるかではなく、今日を如何に食べるかが彼らの問題であることを如実に語つているとは、昭和55年以來ドマゴット国際里親制度をスタートさせた代表・藤原輝男山口大工学部教授の談話でした。

あるチボリ族の里も、ドマゴット族の集落の悲惨なまでの貧困さに劣りません。チボリの子どもは13才くらいで親の決めた相手と結婚しますが、生れてくる最初の2児は大抵幼いうちに死んでしまうと、いう痛ましさです。

畠山さんは里子を見守つているうちに、何でもこの子のためにしてやりたいと感じました。先づゴムの草履を買ってはせました。食べるものの畠山さんは自分のために用意したお弁当を女の子に分かれました。おいしそうに食べ始めた彼女はちりりんげにたつた半分も食べたかと思うと、もうお腹いっぱいと手振りで話しかけました。極端に乏しい彼らの食生活が、成長ざかりの年令にあるこの女の子の胃まで小さくしてしまつたのです。

自分が欲しいと思うものを、好きなだけ与えられることに慣れ過ぎた日本やアメリカの子どもたちとは何という違いで、畠山さんは同行した数名の日本人の里親に会うため、20数軒も離れた所から歩いて来たのだそうです。畠山さんの里子8才もなく24人の子ども達が現れて来ました。見えた里親に会いにやつて来ました。恥じらいの道も見えないのに、どこからとがわかりません。住みついた所も国立公園にされているという有様。彼らは農耕のすべも知らず、魚や野豚、鹿、猿などを追つて移動。獲物が捕れると集落全体で平等に分配。捕れなければ何日も食べない日が続くといった生活です。出会つた大人も子どもも手足が極端に細く、あら骨が浮き上つて、明日をどう生きるかではなく、今日を如何に食べるかが彼らの問題であることを如実に語つているとは、昭和55年以來ドマゴット国際里親制度をスタートさせた代表・藤原輝男山口大工学部教授の談話でした。

あるチボリ族の里も、ドマゴット族の集落の悲惨なまでの貧困さに劣りません。チボリの子どもは13才くらいで親の決めた相手と結婚しますが、生れてくる最初の2児は大抵幼いうちに死んでしまうと、いう痛ましさです。

「私は生き残るのにどうしたらいいのか」というしゆう長の間に応えて、農耕や読み書き、健康管理の指導に現地のボランティアが着手したばかりですが、一人でも多くの日本人に善意を呼びかける運動も是非続けたいとばかり、畠さんは帰国以来50人ばかりの人にチボリの子どもの里親になつてもらいました。

ドマゴット・チボリ国際里親運動の開合せは畠山八郎(49)大津市唐崎1-4-1電〇七七五-七九一一〇六三へどうぞ

台湾の教会は複雜で、司教様と信徒のかかわりはありません。特に台湾の聖職者のかわりはありません。特に台湾の聖職者は先に述べたように本土の人が少く、外国人という意識が強くて、考え方などの違いもあり、現在は宣教者が先に立つて行動していくという時代は終り、コンバティオンという意味で台湾のシスターたちと共に布教、或は事業を行なっています。シスターたちは土地の人と組んで行動し、主な責任は土地の人が出来るようにしています。

土着宗教が根強い為、改革をしていくためには先ず民衆の文化の根が何処にあるのかを見出さなければなりませんが、いわゆるクラシックな教えでは改革は進

台湾のキリスト者の総人口は3%位で、半分の1.5%がカトリックです。教区は7教区あり、私の教区の司教はアメリカ人ですが、他の教区は大陸から引き上げて來た人、台灣省以外から來た人が司教になつています。その為言葉が通じず努力はしておられますが、



Sr 小合 悅子
京都・高野教会出身
メリノール女子修道会
台湾に派遣され27年間
宣教

日本から見た東南アジアの教会



一人ひとりの発展養成を

やすぐ、例えば神父様は信者の事にはからず招かれます。そのかわり信者は司祭館にお構いなく入って行くといった具合です。司祭、シスター、信者は皆平等で差別がありません。

私たちが融金をするような互助会とかマリッジエンカウンターなどの運動しているその中で価値観を変えていく、そういうのが一般のキリスト者の社会に対するコミュニケーションだと思っています。

土着の宗教は、家から平和であり、健康であるという、目的は現世的なものなので、礼拝の時間や経費などが無駄。しかしカトリックになればその必要はなく同じ気持で平和や健康が望め、成功を望める。日本のよう個人が聖人になるとかは無く、教会で献金をする目的は家庭の平和、大安、健康を一番に望んでおり、自分の靈的なものはありません。しかしクレデット・ユニオン互助者とマリッジエンカウンターを体験した人は、自分の

に神父様が信徒に任せている教会を発展していく、希望があります。又教会の中で知識階級の人たちは個人として、一人ひとりの福音の精神で発展養成を目指していますが、国の将来が分かりませんので、お金のある人は子弟を国外へ出しています。しかしそれができない人たちがいるのですからこの人たちは、一般庶民の教育や宣教を大切に一生懸命やっています。ヤング・クリスチヤン、とか、ヤングワーカーズの人たちなども一生懸命にやる人が増えてきました。

のシスターたちの所で新しく身体障害者の重症者の家が出来、そこで責任をもつて活動しています。信徒たちは自発的に援助し、シスターたちはその手伝いをしています。それぞれの教会では信徒会があり、とてもしつかりしており、とくに神父様が信徒に任せている教会も発

国内の人は外のことは何もわかりません。又援助や色々な運動は禁止されており、私たちも政府の方針に従っています。

家庭のことしか考えなかつたのが、他人を喜ばせる嬉しさを体験し、福音の精神を自分のものにしていくのです。まだ、はつきりとは意識してはいないようですが、集りなどには何もかも犠牲にして来ます。お互いの家庭のことを話し合つたり、一緒に遊んだり、学ぶことによつてキリストの共同体を体験しています。

★小教区の貢★

報恩寺教会

国鉄山陰線綫部・
福知山駅から共に約十杆に位置する山に
開まれた農村地帯。ここに私たちの報恩
寺カトリック教会があり

ます。「報恩寺」とは寺ではないのか?

?という人がありま
すが、寺名ではなく

地名であり「報恩

寺」というよりも「

サガムラ」といえば、
或いは古い信者の方は「あ、あの集団
改宗の……」と思
出される方があるか

も知れません。当時

教区ビジョンが登表された時、報恩寺教

会にとつて、具体的にとり組める事は何

かなど考えてみました。一番最初に頭に

浮かんで来たのは、「生活の中の祈り」と

いう事でした。

宗教の形式をそのまま

リック教会へ入つて、

朝夕仏壇にお茶と御飯を捧げ手を合わ
すように、先祖の位はいのおかれた祭
壇の前で朝夕祈つてくれれば、そして祈
る事によって信仰が深まつてくれればと
思つたからです。報恩寺教区と
教区ビジョン皆が教会に来てく
れないかなと思つ

からです。

まひっさげて、カト
リック教会へ入つて、小高い山に囲まれた福知山の一寒村か
ら世界に恵みの雨を降りそそがす祈り

のこだまが主に立ち昇る事を願つて、

横田
神父村字報恩寺は、今は合併して福知山市字
報恩寺となつております。

佛教からカトリックへの集団改宗がどうして出来たのか、誰しも聞きたい處であります。「報恩寺」とは寺ではないのか?という人があります。

集団改宗と
位牌堂

年頃は、敗戦で人々は心の支えを失つて、揺れ、混沌とした雰囲気の時代でありました。みんな何か心の提りどころになるものを求めていた時代といえましょう。

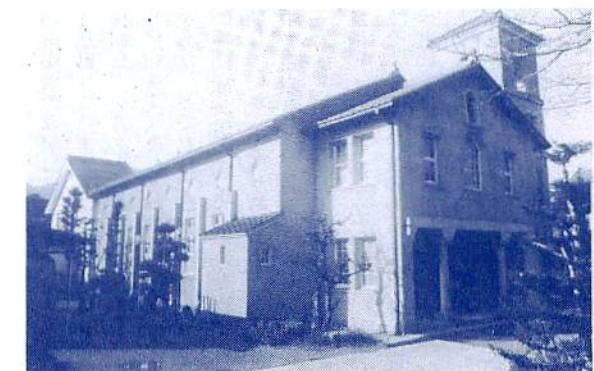
古屋司教様の「芽生え」の中にこんな記事がありました。

村民の多くが改宗した佐賀村には、こんな経緯があります。私が、高木國

又一信徒の提案によつて実現した聖マリア行列にも期待をよせていました。マリア様のご像をみこしに乗せて村の中を祈りながら行列するという事で、御みこしをかつぐという村の行事の共通点を通して、もつて行つた人もあります。

また報恩寺教会には、聖堂の横に位牌堂が建っています。十字架とマリア像を安置した家庭祭壇に、そして位牌堂に、十字を刻みこんだ祖先の位牌を置くことは否めず、将来を担う若い人が少いことも悩みです。

最近の主な出来事としては、昨年第一回の聖母行列を実施し、これを中心に、読売テレビ宗教の時間に報恩寺教会が、録画・放映されたことは特筆すべきこと



地域人口の減少と並行して信徒数の減つてゐることは否めず、将来を担う若い人が少いことも悩みです。

この間には、種々の問題もありました
が、歴代の神父様はじめ多くの方々の尽力と理解で今では落ちついております。
現在の在住信徒数三百余、農村地帯とはいうものの殆んどが兼業農家であり、

私たちは、今一度歩んでも来た道を頗み新しく教会の一員としての自覚をし、進みたいと思っております。未だ弱々しくや、もすれば挫けそうになる私達の小教区のため、皆々様のお祈りをお願いして擱筆します。(信徒会長 野田吉夫)

アマスコ達上
もぐらの魔術
幼稚園の方は□□修道会
ゆうて書いてあるもんや
さかい、宗旨が違うんやとばっか
り思つてましてん』『この間、用
事ついでに寄つてきました教会はおも
しろいこととした。会社に行かはる旦
那さんも奥さんも、共同体の祈りやゆう
て朝早ようから集り、朝飯を教会ですま
せはつてからみんな仕事に出かけはりま
すんねん』『へーえ。そう言つたらわ
たしも先だつて珍しいとこ覗かしてもら
いましたわ』『何ぞ変つたものでもお見



小木曾 恵美子さん



日曜学校と学校

学校で愛と言つても、わかる人は、少ないだろう。ほとんどの人がちがう方の、小さな小さな、ありのような、愛と思うだろう。本当の愛は、イエズス様の大きな大きな愛だと思う。

みんなが、いつの日か、ちっぽけな愛ではなくものすごく大きな愛を、わかってくれるときを、待ちたいなあと、思つていて。今の私に、出来る愛とは、どんなことかなあ?と、考えてみた。

たとえば、学校で仲間外れにされている人と、いっしょにあそんであげるのも

つけやしたんか』『いーえそれが別に何にも変つてしまへのやけど、みーんな信者さんが仲良うて羨しいくらいなんどす』『ほんなら、何が珍しおしたん』『それがあんたさん、信者さんの言わはつたのには、わたしらみんな仲良うて教会へ

みんなカトリックですねん

来るど、ほんとにホツとしますねん、そやけどキリスト様の教会にいるもんがこれではあかん。『あかん』ゆうてはりますねんよ』『へーどうしてやろなあ』『仲良うて悩んではるお人らを見て、何やけつたいなことやあと思いましてん、そこが珍しいって言うわけですねん。何でキリストさんの教会の信者さん同志が

愛だし、運動場にごみがおちついて、ひろうのも愛だと思う……!私はすぐに大きな声でバカわらいを、してしまうけれど、いつも、ニコニコしていることは、愛につながると、思う……!

よく考えてみれば、みじかな所で、愛は実行できるように思う。どんな人の心中にも、愛はある。それなのに、どうして愛のある人々が、戦争をおこすのだろう……。とても、おそろしい、悲しく思う。戦争を、おこすことは、けつして、神様は、のぞんでおられない。教皇様は、おっしゃつている。『戦争は、人間のしわざです』と。

だから、みんなで、『平和がきますよ』仲良かつたら悪うおすの』『いーえ悪く『ほんなら、何が珍しおしたん』『それがあんたさん、信者さんの言わはつたのには、わたしらみんな仲良うて教会へたらどうしはるかを先ず知るのに聖書を勉強したり、行動に移さはつたり……』『成程道理で△△教会の信者さんは聖書研究会をやらは

うに

とお祈りをしなければいけない。日曜学校では、今、自分新聞を、書いている。その新聞は、学校であつたことや、家の生活を、毎日ノートに書いて、神様にささげるのだ。『神様に、生活をささげる』と、聞いた時は、「おもしろそだな」と思つて、むねが、わくわくしていた。そして、ノートに毎日その日に、あつたことを、正じきに私が書いて、神様に、ささげた時は、心がすつきります。生活をささげると、いうことは、むずかしいけど、すばらしいことだなあと、思つ。

イエズス様は、『こまつている人や、小さな人に、親切にしたことは、私にしたことである』と、いわれた。だから、これからも、イエズス様に喜こんでもらえる人になりたいし、神様にささげるノートに神様が、喜こんでくださることで、いつぱいにできたらいいなあと、思つてゐる。

愛を示して下さいアジアの兄弟に!

ウォーカーソン参加申込用紙への

広告募集

一ワク……10,000円

申込先……京都カトリック教理センター

T E L ……075—761—9095

(小学校5年生 西院教会)



ガールスカウト日本連盟理事長、
聖母院ボランティア、日本病院
ボランティア副会長、京都教育
委員会等多方面に活躍しておら
れる。

「ボランティア」の言葉が日本の社会に定着して10年そこそく。使徒職活動が御奉仕と言わされている頃から、着実にボランティア活動の道を歩み続けておられる岡本田鶴子さんに、その体験を伺う。
――信仰に入られましたきっかけは?

「小学校が雙葉学園でしたので、要理は受けていましたが洗礼までに過ぎつけず、結局結婚後、子どもが信愛幼稚園にお世話になつた昭和22年に母子共に洗礼のお恵みをいただきました」

――では、ボランティア活動には?

「子どもがノートルダム中学に通つておりました折、同級生に誘わされて高野教会の団のガールスカウトに入りました。私もガールスカウトがどんなものかが分かりませんでしたけれど、教会にあるものなら良いことに違いないと思い、ボランティア活動に自分が巻きこまれるなど夢にも思わず、気軽に入りました。私は子どもが一人でしたので、暇そうだし、活動は親も一緒にした方がいいと勧められたりして、結局団員がリーダーになりました。

「ボランティア」の言葉が日本の社会に定着して10年そこそく。使徒職活動が御奉仕と言わされている頃から、着実にボランティア活動の道を歩み続けておられる岡本田鶴子さんに、その体験を伺う。
――信仰に入られましたきっかけは?

「小学校が雙葉学園でしたので、要理は受けていましたが洗礼までに過ぎつけず、結局結婚後、子どもが信愛幼稚園にお世話になつた昭和22年に母子共に洗礼のお恵みを

いただきました」

「その他、整肢園のボランティア活動もしておられると聞きましたが……」

「整肢園が出来て暫らく大変手不足な折に、古屋司教様のお声がかりで、京都市内各教会の婦人方にお手伝いをお願いされた事があります。その時にも私は余

りかと続けております」

「今までも振り返って、ご自分のカリスマを見つけてこられたという感じですね。」

「そうですね。そういえるのはすべて私が教会につながつておられたお蔭だと思います。そうでなければ違った生き方をしていたと思います」

「ボランティア活動を通して社会の方々とつながつていらつしやるのですね。」

「子どもも一人ですし、お蔭様で家族も私も健康でやつてきましたので、私がしたたかに応じた責任あるお仕事をさせていただいたということでしょうか。」

「今までこういう事をした経験のない方は、ボランティアというは何か肩をはいて思つて伺つたまでです。その内、國も整備され、アメリカあたりはボランティア活動が病院でも随分盛ん。日本でもそういうグループを育ててゆきましょう」とシスター方のお考へで、始めは信者さんが主でしたが、やがて近所の婦人会の方とか、多くの善意の方達が活躍なさる格好です。最初はお手伝いして差上げると、何か特別な事をしていると思われがちですが、私は決めた日にお約束したお仕事を必ず続けて生活のリズムにしただけです。最初はお手伝いして差上げると、いう気持でしたけれど、むしろそれを通して与えられたり、学ばせてもらつていて、まさに氣づきました」語られた言葉

◎高見山引退、巨人不調。強いと思われていたものが弱いと言う事は何となく淋しいものです。この感情、弱い立場に置かれている人々を大切にする感情と矛盾するのでしょうか。矛盾する人間の心も亦いとおしく……見返しに痛快の情ありとも、又その心悲しい。(MT)

◎教皇訪問は言わすもがな、韓国教会フイバーは日本のキリスト者の間に、大きな波紋を投げかけています。「ウチにはウチの行き方がある」という言い分も判ります。でもお隣りの生き／＼した信仰の原点がどこにあるか、素直に見つめ共に喜びあうのもすばらしいのです?(Y)

時報が対話する「おう」書く手段なら、読む者も、投稿者は「互いに心を開け、も編集者も。

社会と共に歩む人物記(14) ・生活のリズムにのせて・

岡本田鶴子さん (河原町教会)

(Y)

本紙を福音宣教に役立たせるため、ご近所、お友だちにもお見せ下さい。